
盟和産業株式会社
2026年3月期 決算説明会資料

2026年5月28日



- I 決算レビュー**
- II 通期業績見通し**
- III 中期経営計画 重点課題の取組み**
- IV 株主還元**
- V (ご参考) 売上高の内訳等**

I 決算レビュー

決算の主なポイント

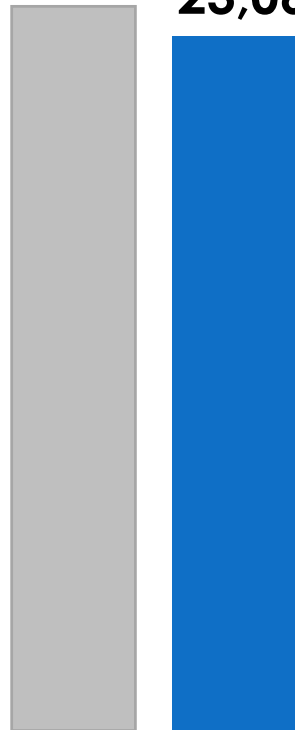
- ◆ 棚卸資産の評価減の影響を除き、連結で概ね計画通りの業績を確保
- ◆ MWX2030の収益基盤強化の取組みにより原価低減と価格転嫁の両輪が機能
- ◆ 中国事業の反転攻勢に向け、新規受注獲得の取組みを強化

連結業績の概要

(百万円)

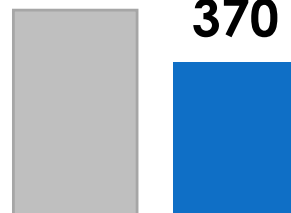
■ 2025/3期
■ 2026/3期

23,250
23,065



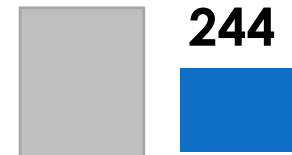
売上高

505
370

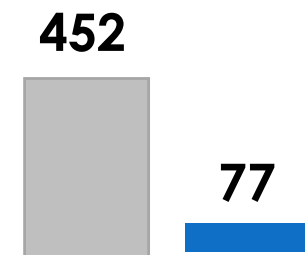


営業利益

435
244



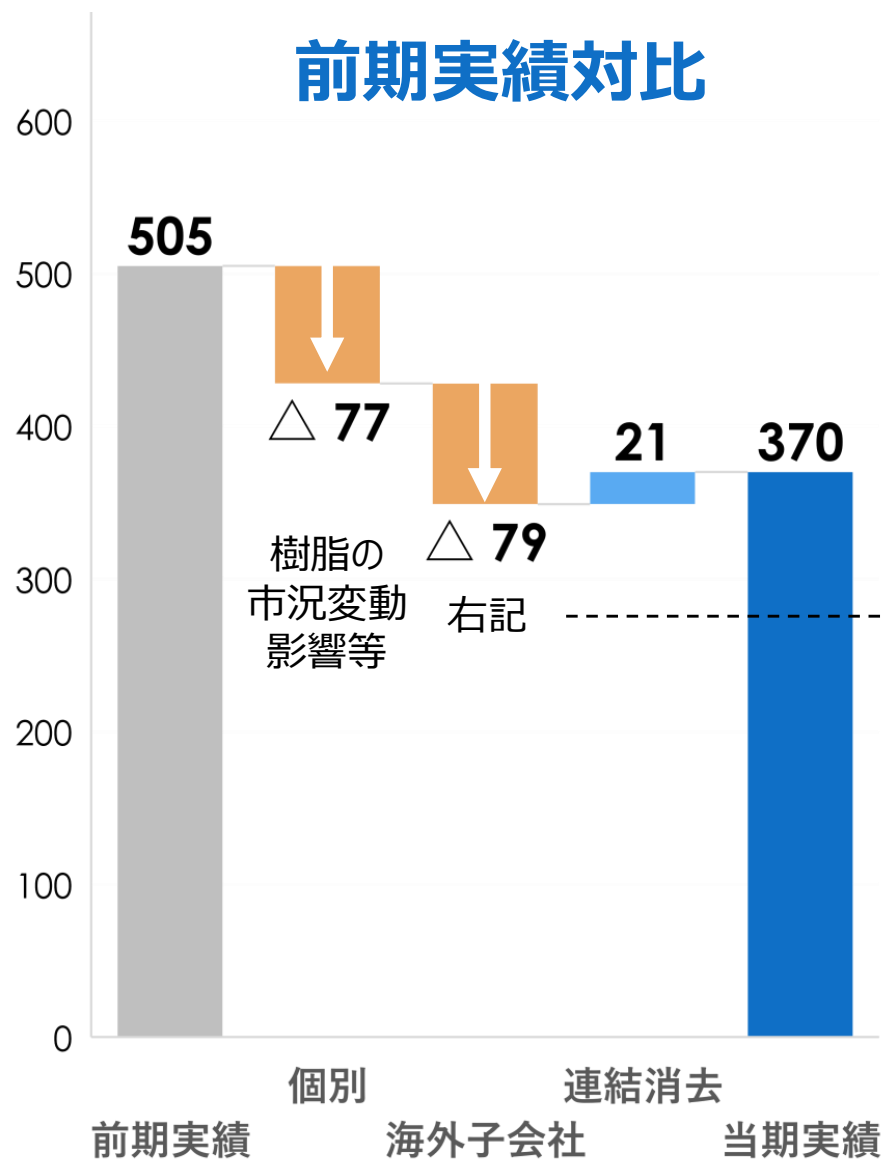
経常利益



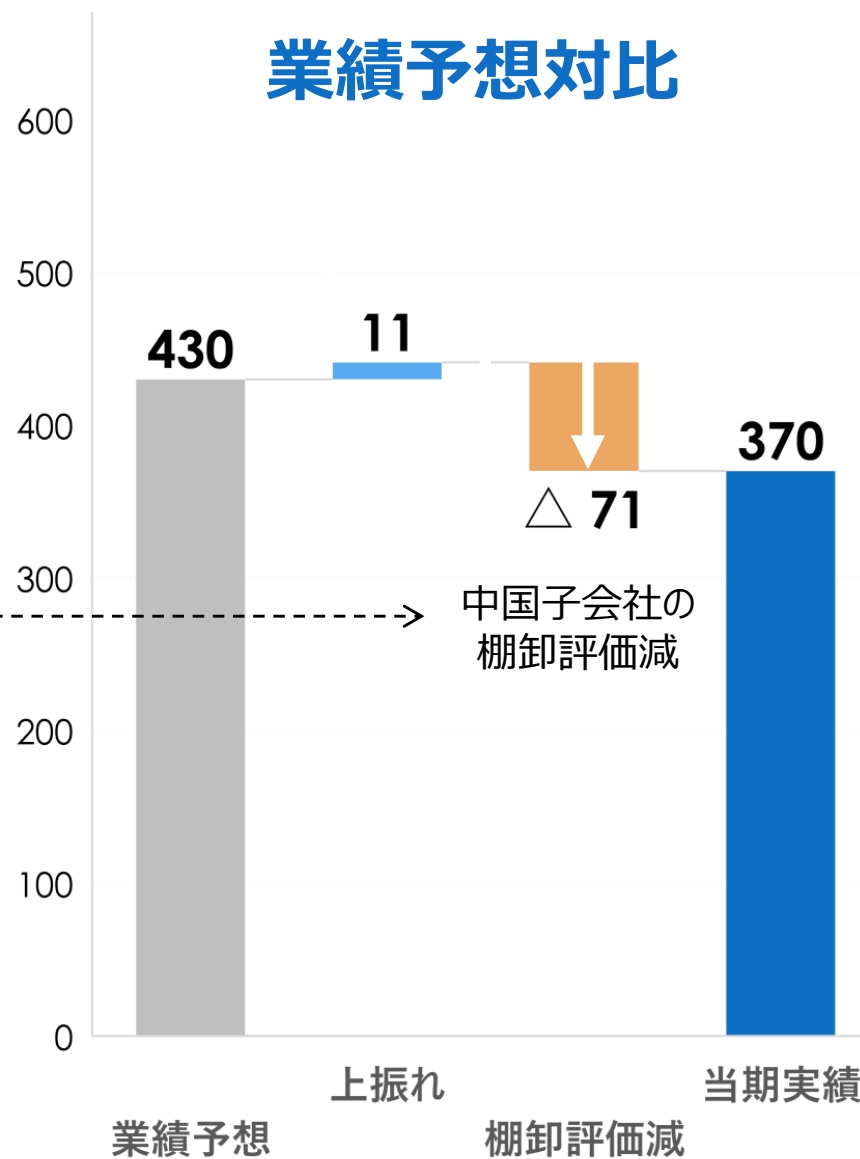
親会社株主に帰属する
当期純利益

営業利益増減要因

百万円



百万円



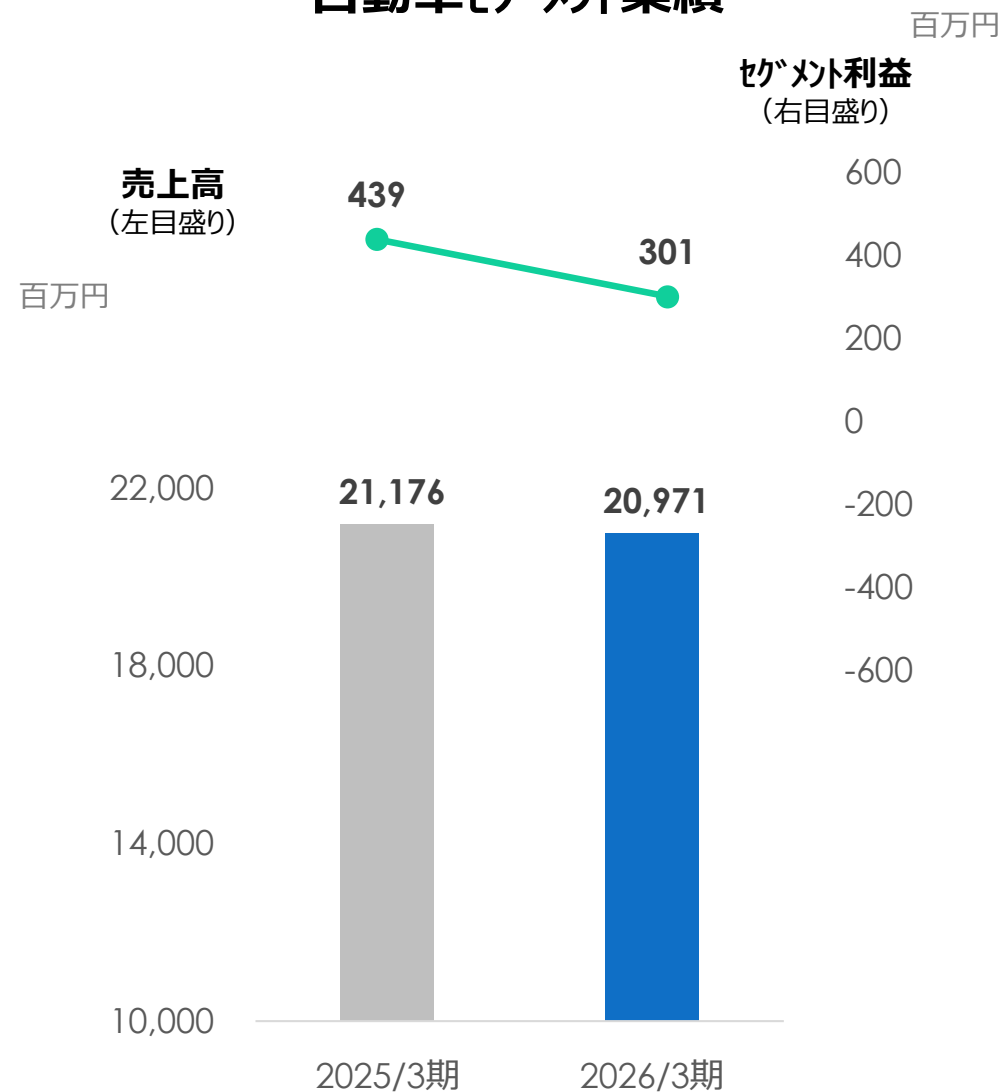
自動車セグメント業績

連結売上高の9割が
自動車セグメント

◆売上高は前期と同水準

◆セグメント利益減益

自動車セグメント業績

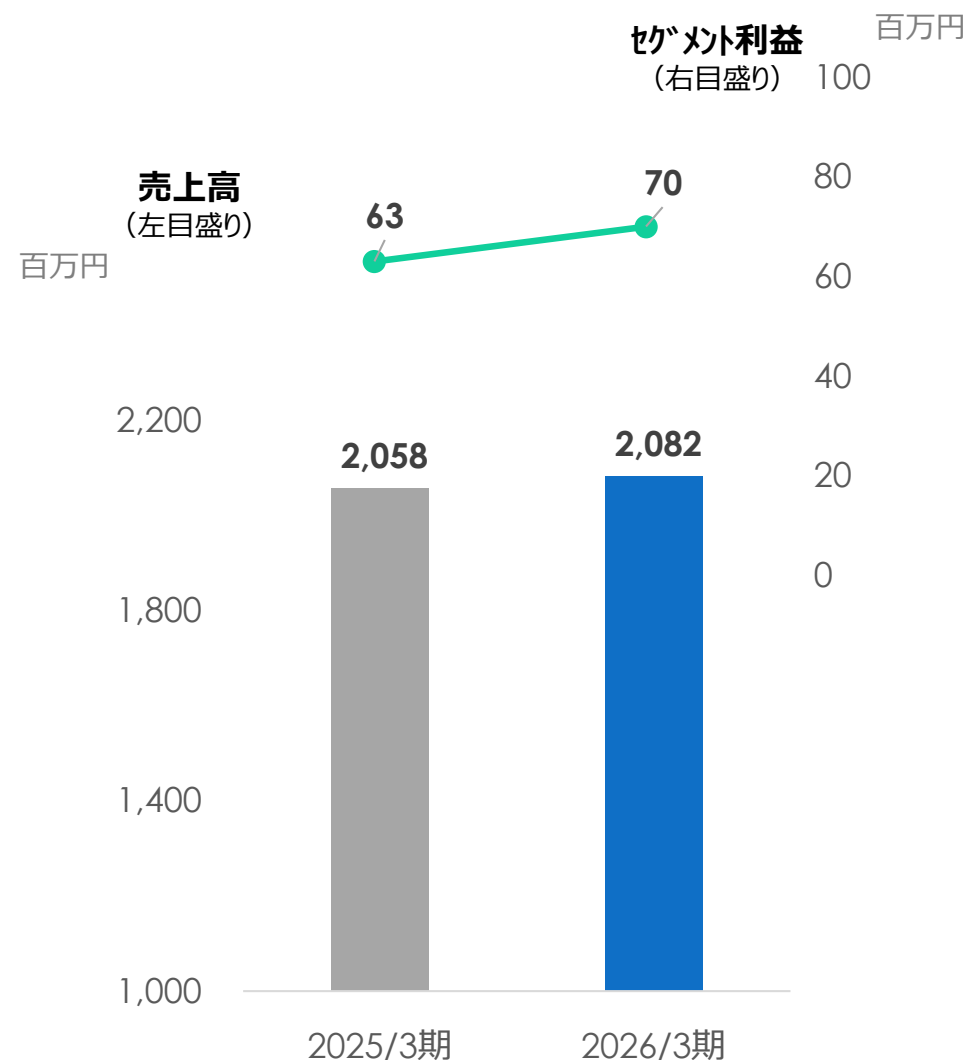


住宅セグメント業績

◆ **住設資材堅調**
住宅設備資材中心に
底堅く推移

◆ **原価低減・価格転嫁**
セグメント利益確保

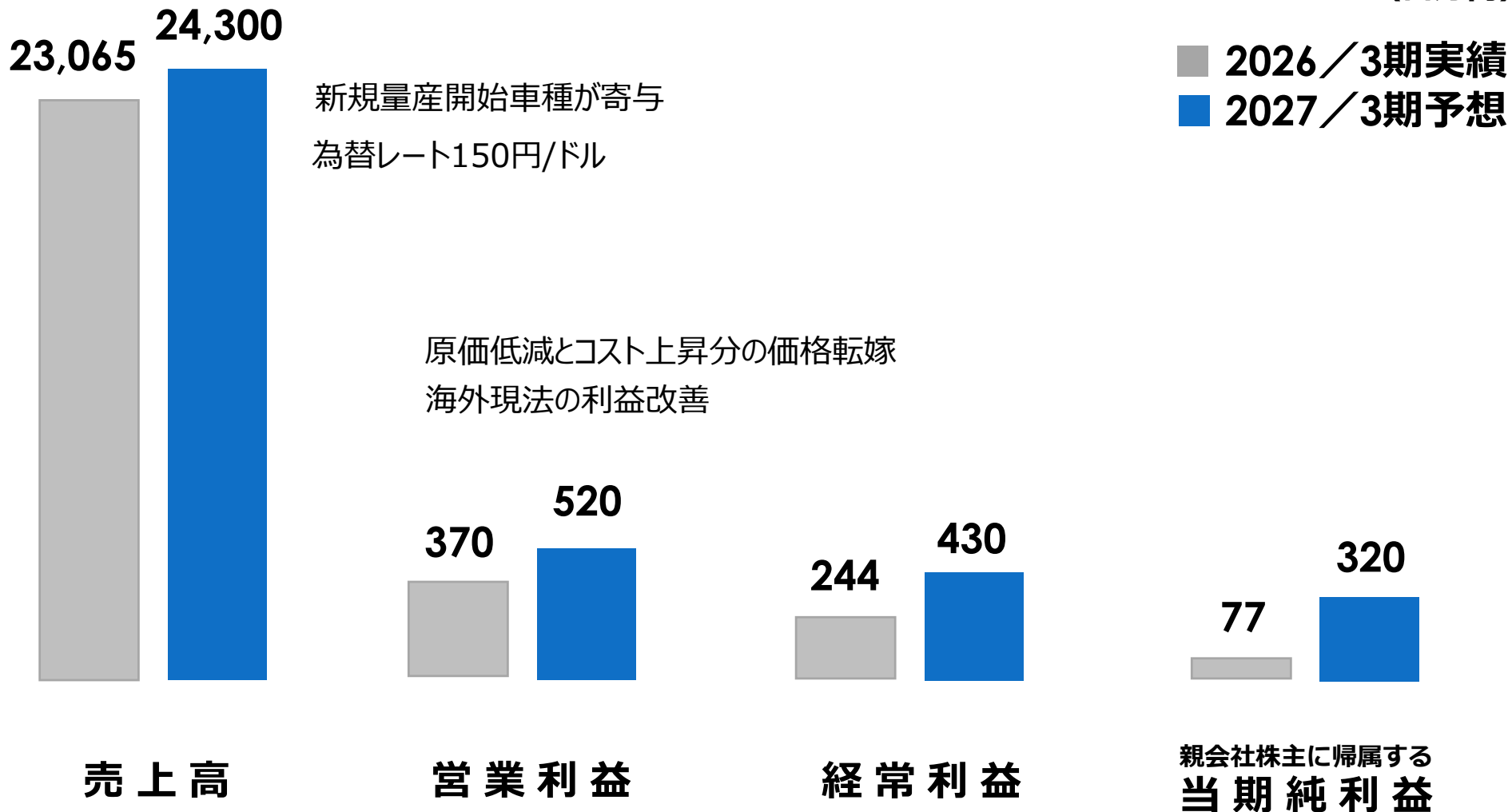
住宅セグメント業績



Ⅱ 通期業績見通し

通期連結業績見通し

(百万円)

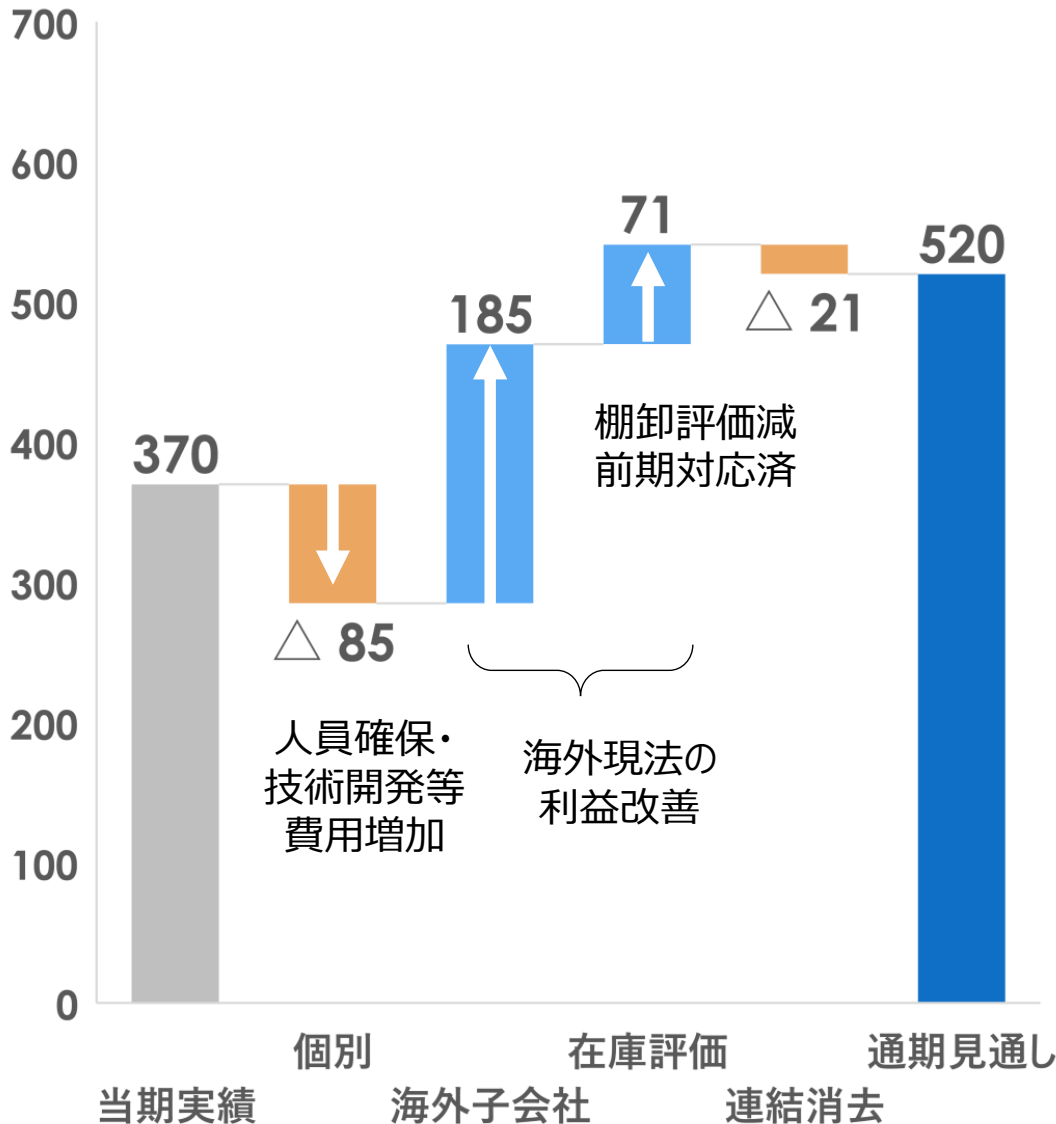


➤ 上記業績予想には、中東情勢の影響は織り込んでおりません

営業利益増減と海外子会社の状況

通期営業利益見通し

(百万円)



◆ 中国

- 受注活動強化により 下期量産開始車種が増加

◆ 米国

- 原価低減・生産性向上と コスト上昇分の価格転嫁注力

◆ タイ

- 車種による売上変動あるが 総じて業績安定

中国の受注活動強化



- ◆ **華北・華南一体運営**
中国全体として最適な製品供給体制構築
- ◆ **現地人材主体の営業活動**
現地の実情に合った迅速な提案実施
- ◆ **現地技術者の育成**
日本で現地技術者を育成、即戦力として受注活動に参画

Ⅲ 中期経営計画 重点課題の取組み

中期経営計画MWX2030の概要

- 期間 2025年3月期～2031年3月期（7年間）
- 数値目標 売上高270億円/当期純利益9億円/ROE8%以上
- 3段階のステージ

MWX2030



- **MWX2030**：MWはMEIWAの略称
2030年に向けた盟和産業の変革、トランスフォーメーションを表す

中期経営計画MWX2030の重点課題

	項目	取組内容（例）	
収益力強化	取引採算の改善	販売価格の適正化、低採算取引見直し	
	一貫生産体制強化	購入部品の内製化等	
	製造・管理の効率化	省人化・省エネルギー設備導入、DX活用	1
	原価改善	グループ全体での買い方、作り方、運び方改善	
成長戦略	新分野開拓	保有技術を活かした関連分野の開拓	2
	循環型の物造り	CE（サキュラーエコノミー）への対応	
	既存分野拡販	新製品受注、取引シェア拡大、非日系顧客開拓	
ESG経営	カーボン・ニュートラル推進	2030年までにCO2排出量2013年度比半減	3
	人的資本の拡充	層別人員体制確保、海外拠点技術者の現地化	
	資本コストや株価を意識した経営	株主価値の向上、ROE・PBR等指標改善	

1 仕上げ工程改善実施例

➤ デッキボード 部品組付け工程の改善

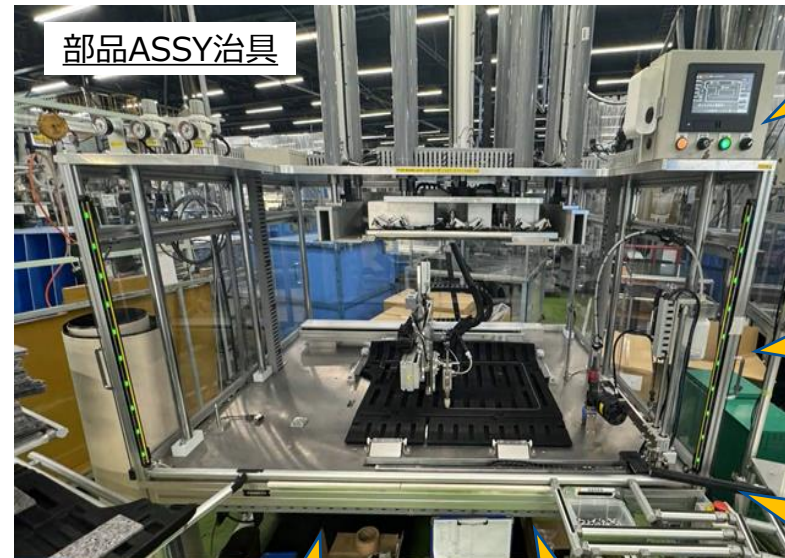
目標：ヒューマンエラーの撲滅

- ・作業手順間違いによる不具合品の発生を自動音声案内により防止

<従 来> 習熟した作業者のみができる作業

<新工程> 作業手順に沿った自動音声案内による作業

教育訓練期間の短縮
多能工化の促進



音声案内



基材セット待ち



不織布セット待ち
リベット打ち待ち
フェルトセット待ち



ホットメルト
塗布中



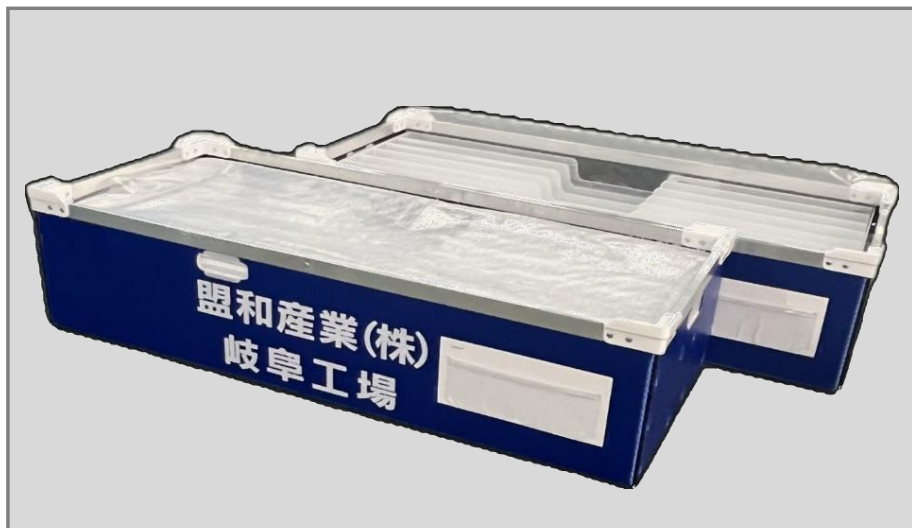
フェルト圧着中



完了
ワーク取り出し待ち

2 メイトーン新用途開発

<通い箱>



<トラック用 仕切り板>



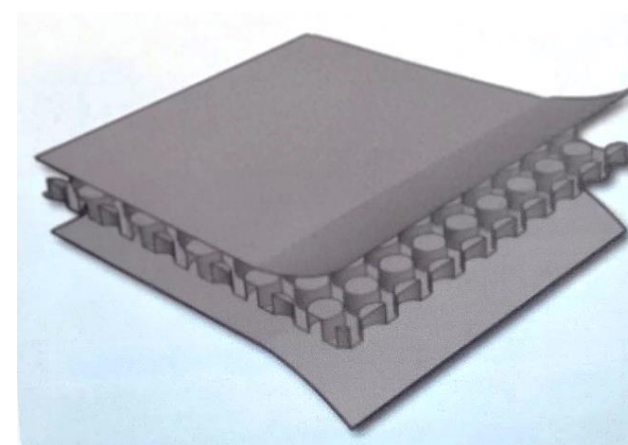
➤ 先ずは当社使用品の切替を目指し、試作品にて実証中

循環型の物造り

- ・ 熱可塑性樹脂を主原料とした材料構成であるためリサイクルが可能

新分野開拓

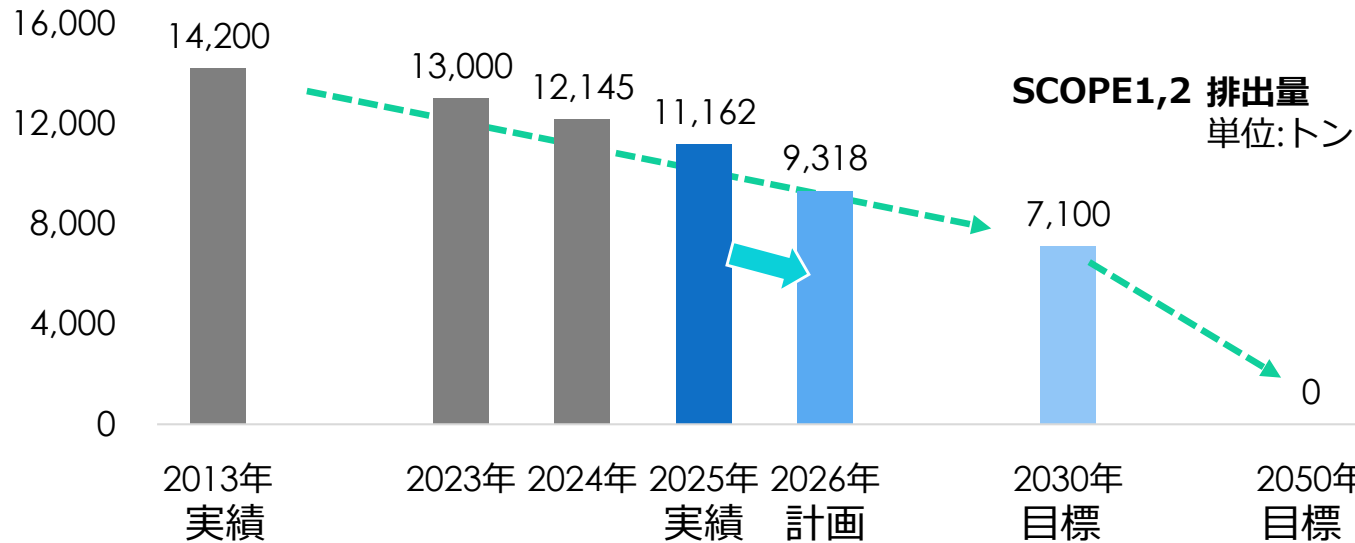
- ・ 保有技術、保有設備を生かした新規分野の開拓
- MEIWA INDUSTRY CO., LTD.



メイトーン
(ダンボールプラスチック)

3 カーボン・ニュートラル推進

◆ **目標** 2050年カーボンニュートラル達成
 2030年度までにCO2排出量2013年度比半減



➤ **2026年度排出量
 計画 9,318 t**
 2013年度対比
34%削減

◆ **取組** CO2フリー電力へ順次切替 (2026年度 30%切替)
 高効率機器への設備更新
 省エネルギー活動 (電力使用効率化・平準化等)

新技術開発 開発テーマ (例)

NO	分野	開発テーマ	期待する効果	SDGsとの関連
1	自動車 内装部品	顧客とのCE・CN対応製品 共同開発 CN/CE	資源循環	1 2、1 3
2		ガラス繊維強化 PPハニカム構造体 CN	資源循環	1 2、1 3
3		デッキボードの競争力強化	コスト競争力	1 2、1 3
4		社内端材リサイクル製品 CN	資源循環	1 2、1 3
5	新分野開拓	廃棄物を用いた資源の有効活用 CN/CE	資源循環	1 2、1 3
6		現有設備を用いた新用途開発 2	収益拡大	1 2、1 3
7	生産工法	自動音声案内によるヒューマンエラー防止 1	技術革新	9
8		ハニカムボードのトリム工程効率化 CN	省人化	9、1 2

■ 研究開発費 (技術者の人件費等を含む) 2026年3月期 4.8億円



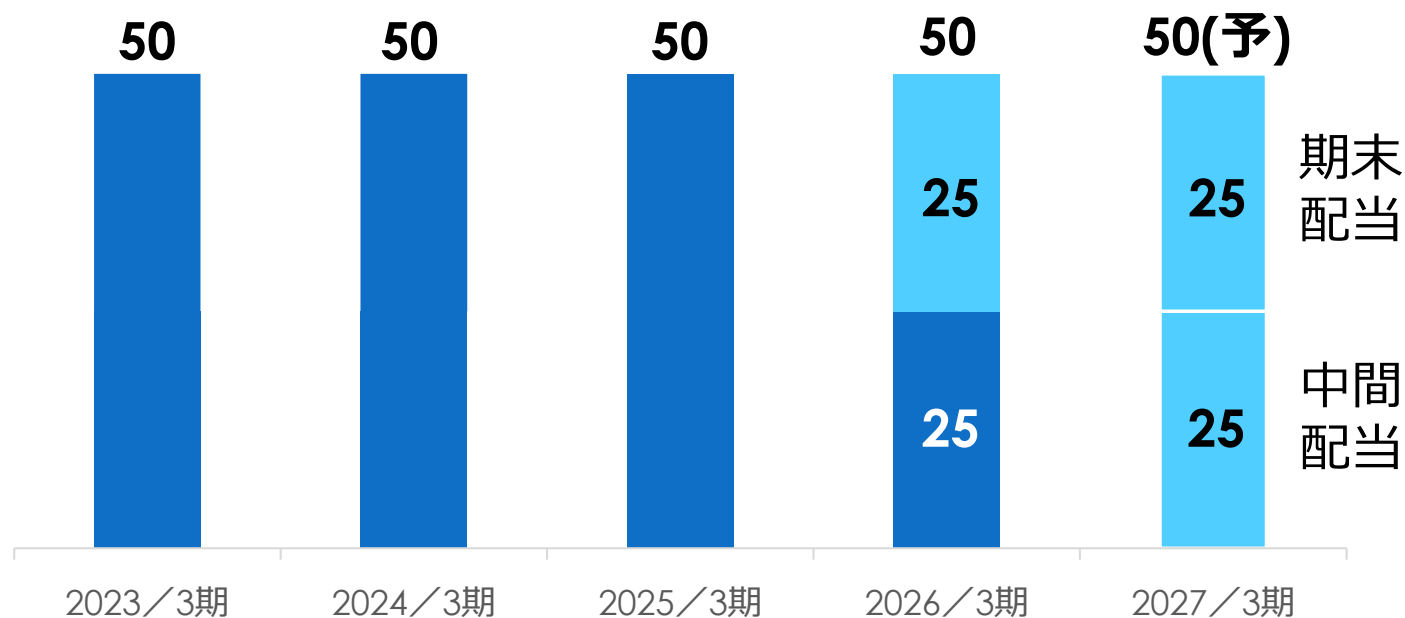
IV 株主還元

利益配分に関する基本方針

企業基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して配当を決定

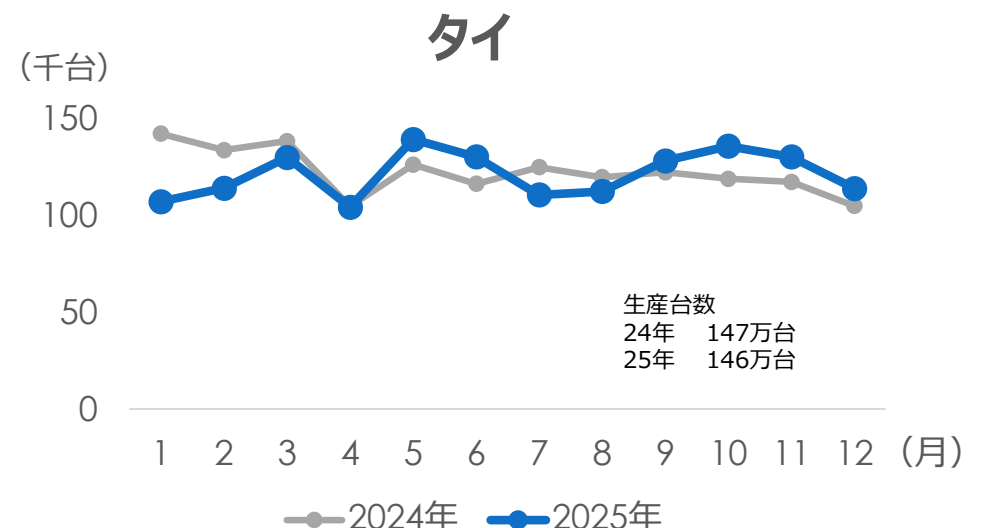
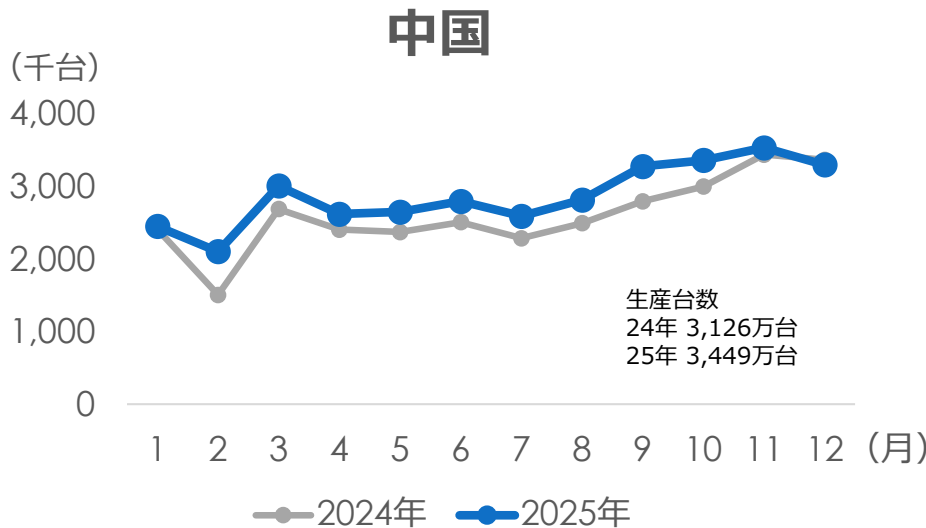
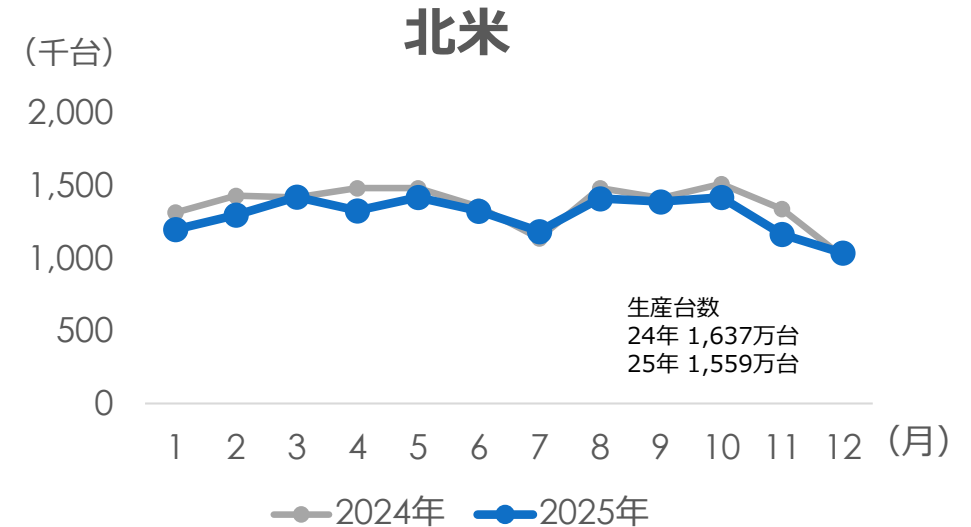
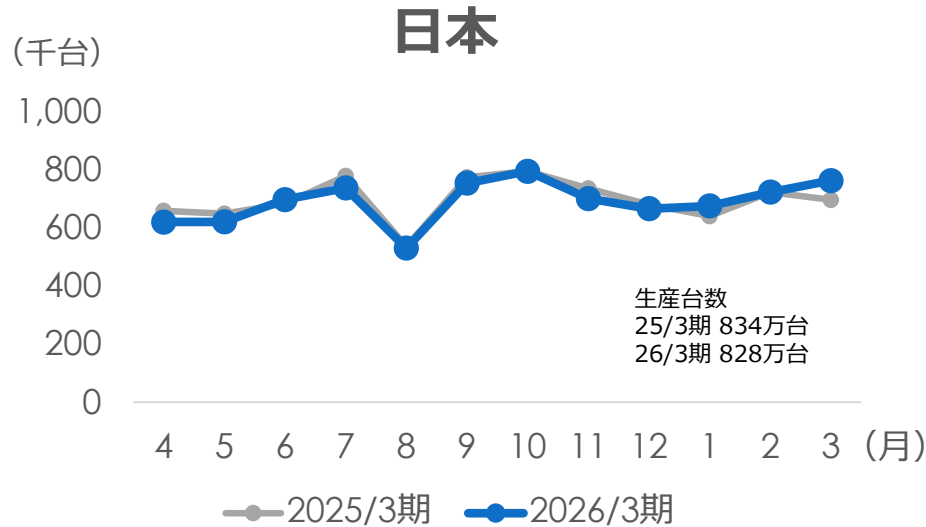
一株当たり配当金の推移

(単位：円)

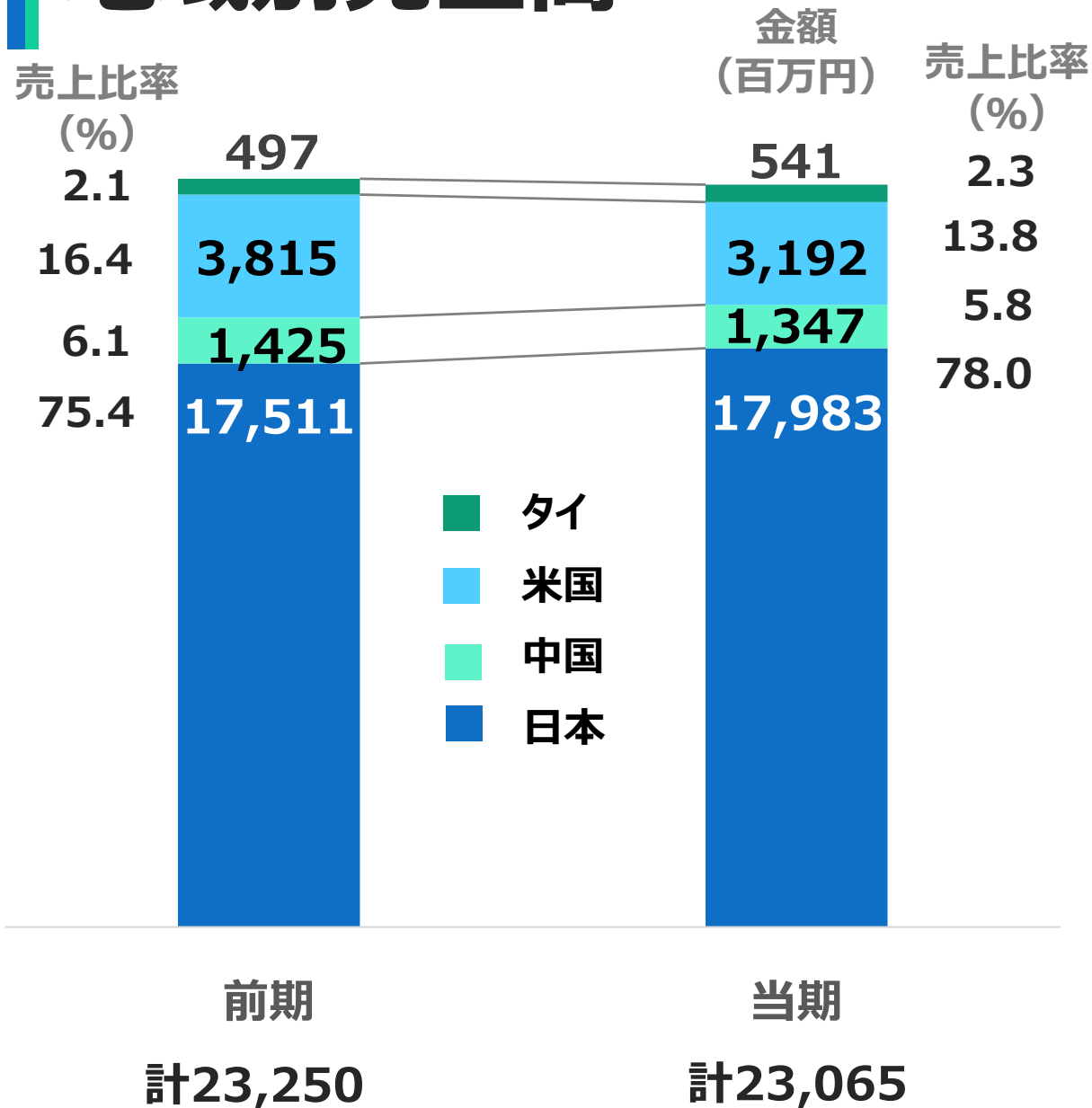


V (ご参考) 売上高の内訳等

外部情報 自動車生産台数推移 (月別)



地域別売上高



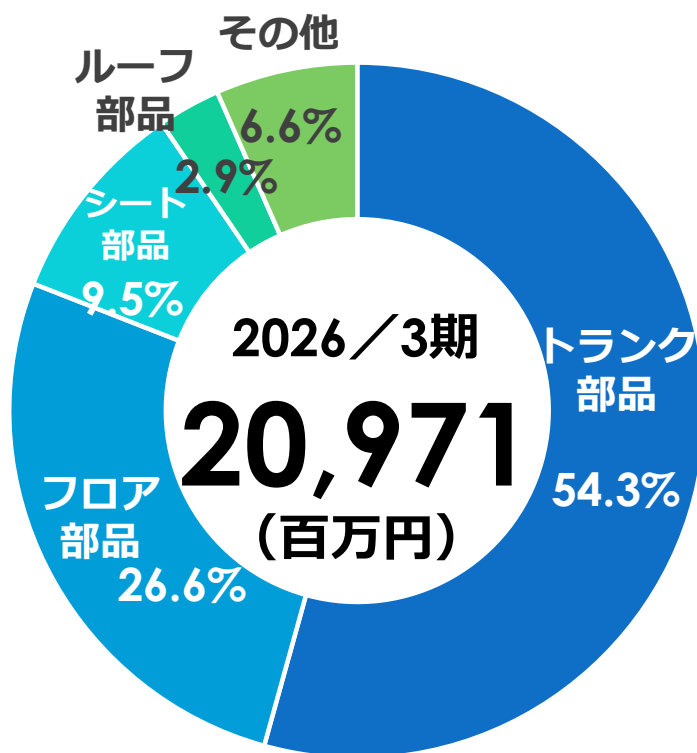
■ 左記は外部顧客に対する売上高

■ 海外売上比率21.9%

自動車部品の部位別売上高

売上構成はトランク部品が約 5 割

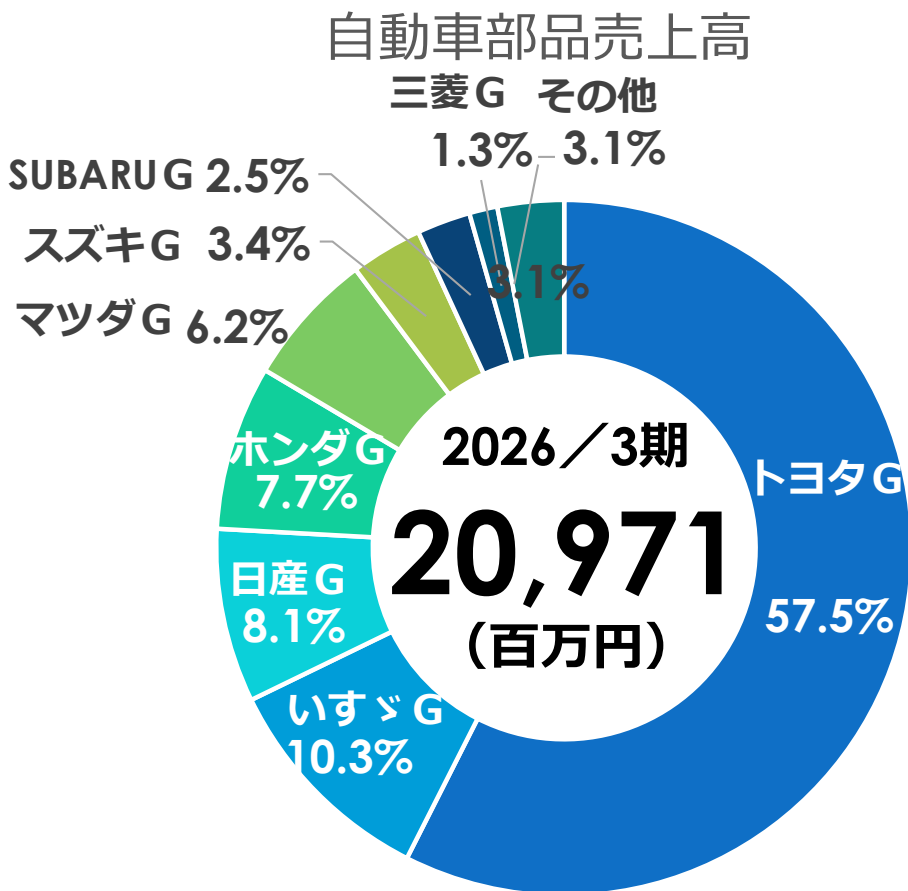
自動車部品売上高



	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トランク部品	11,390	54.3
■ フロア部品	5,584	26.6
■ シート部品	2,000	9.5
■ ルーフ部品	613	2.9
■ その他	1,382	6.7

自動車部品のメーカー別売上高

トヨタグループ向けが約 5 割
(ダイハツ・日野を含む)



	金額 (百万円)	構成比 (%)
トヨタG	12,051	57.5
いすゞG	2,167	10.3
日産G	1,693	8.1
ホンダG	1,605	7.7
マツダG	1,306	6.2
スズキG	702	3.4
SUBARUG	522	2.5
三菱G	274	1.3
その他	646	3.0

バランスシートの概要

(百万円)

資産合計
24,975

資産合計
22,872

負債純資産合計
24,975

負債純資産合計
22,872

流動資産
14,404

流動資産
12,267

流動資産 Δ 2,136

現預金 + 1,086
売掛金 Δ 2,593

固定資産
10,571

固定資産
10,605

固定資産 + 34

リース資産 + 358
建設仮勘定 Δ 170
繰延税金資産 Δ 164

流動負債
10,115

流動負債
7,767

流動負債 Δ 2,347

支払手形 Δ 1,869
電子記録債務 + 854
短期借入金 Δ 1,633

固定負債
2,856

固定負債
2,997

固定負債 + 141

純資産
12,003

純資産
12,106

純資産 + 103

株主資本 Δ 97
評価・換算差額等 + 200

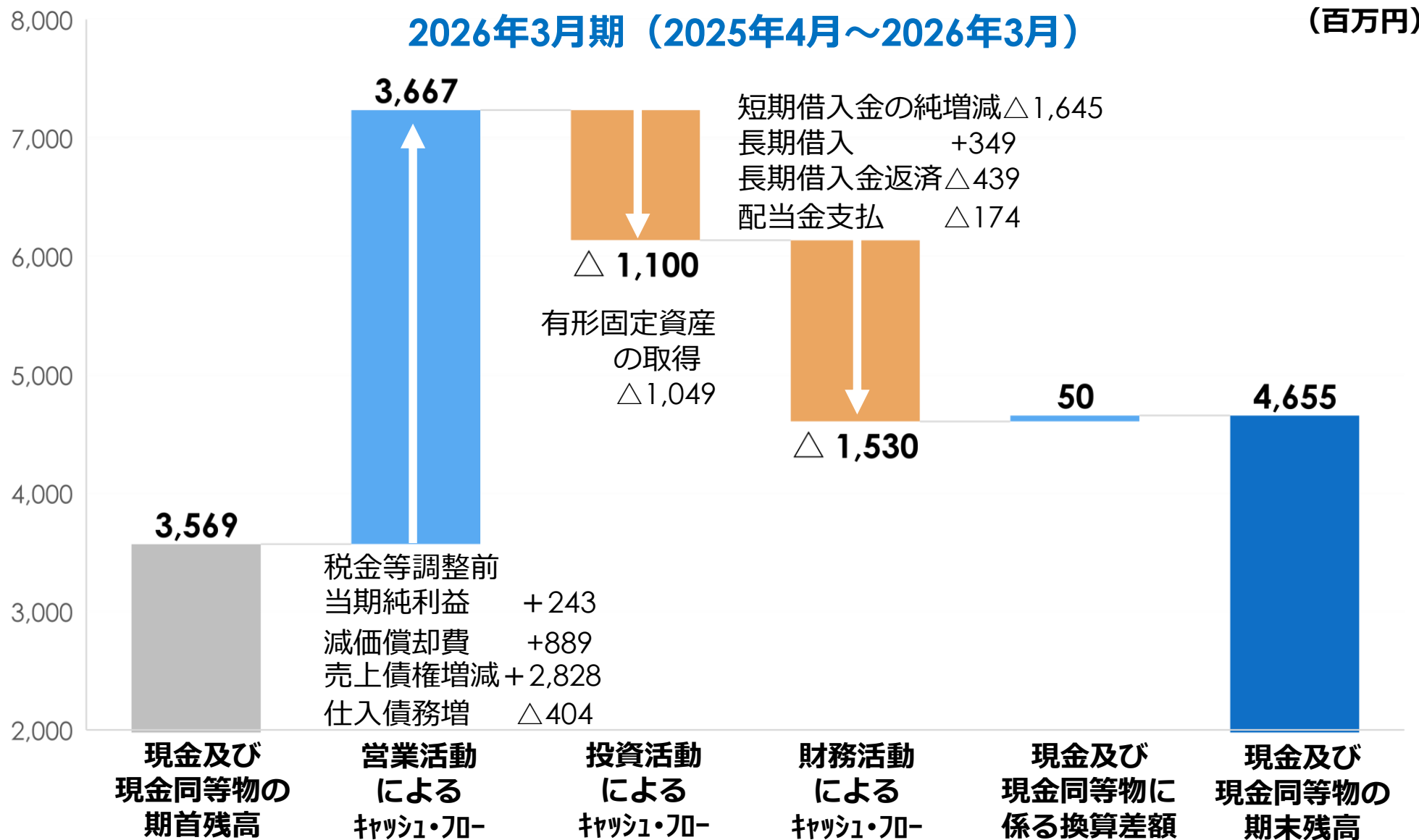
2025/3月末

2026/3月末

2025/3月末

2026/3月末

キャッシュ・フロー計算書の概要



本資料に記載されている将来に関する見通しは、不確定なリスク要因を含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ご了承ください。

盟和産業株式会社

